

秋田市の先人たち

チベット仏教研究者

多田等観

明治二十三年（一八九〇）年生
昭和四十二年（一九六七）年没

土崎港旭町生まれ



主な事蹟

西本願寺法主ほつすの命によりチベットに入り、ダライ・ラマ十三世のもとで十年にわたって修行と研究を積み重ねた。帰国後は、持ち帰った膨大な仏典・文献をもとに、『西藏大蔵経総目録』や『西藏撰述仏典目録』を刊行。東洋文庫の主任研究員として後進の育成にも尽力し、わが国のチベット学の発展に大きく貢献した。